

令和6年3月

令和6年度 アイデアソンの実施方法

千葉県総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課

アイデアソンの実施方法

短期間で思考型ワークショップを開催。

『オープンデータの利活用により、「地域活性化」「観光」「防災」等、行政課題の解決に繋がるアイデアを創出する』

上記を目的に、「集合研修」をイメージしたチーム制(1チーム3~4人)により実施。

【 以下のようなゴール/メリットを想定 】

(大学/参加者)

- ・データサイエンス人材の育成。
- ・データを活用して地域課題を掘り下げ、KJ法等を活用して解決に向けたアイデアを検討するなど、より実践的な手法を学ぶ。
- ・実務に携わる職員やDX関連の企業等と接する機会が得られる。

(行政側)

- ・オープンデータへの理解と、現状のデータに対しての意見、課題点の収集ができる。
- ・オープンデータを活用した様々なアイデア案や、今後のデータ利活用の可能性や実現性を確認することができる。



令和6年度の取り組み内容

○取り組みテーマを提示

「地域活性化」、「観光」、「防災」など
テーマの提示は行うが、より「自主性」を重視



○よりデータアナリスト要素の強いワーク

市場分析から施策の対象者を設定するなど、
データの整理を中心としたグループワーク

大学生・専門学校生・高校生、理系・文系など異なる専門性を持った参加者が、自由な発想でアイデアを検討できるよう、必要なサポートを行いながら、進行します。

進行イメージ

- ・大まかな流れ
 - 1日目: チーム分け、取組むテーマの決定、データ収集・インタビュー
 - 2日目: アイデア検討、アイデアシートの作成、プレゼンテーション
 - ※1日目と2日目の間に1週間程度、アイデア検討やデータ収集のためのインターバルを設定。
- ・以下のテーマ候補から1～2つを検討テーマとして選定。

テーマ候補) **地域活性化** (地域づくり課)、**観光** (観光企画課)、**防災** (危機管理政策課) ※括弧内はテーマ所管課

テーマ所管課への依頼事項

- ① テーマに係る現状・課題についての資料提供・・・計画等の現状・課題。事前のインプットとして参加者に提供。
- ② テーマに関する説明・・・上記の資料をもとに説明。データ収集・インタビュー前にテーマへの理解を促進。
- ③ 職員インタビューへの対応・・・学生からの現状・課題等に関する質問への回答。
- ④ アイデア検討段階での質問への対応・・・検討中に沸いた疑問についての対応(オンラインを想定)
- ⑤ プレゼンテーションに対するコメント・・・学生の発表に対する感想や気づいた点などについてコメント

地域ごとの想定スケジュール ※実施時期は8月を予定

1日目		
1.	千葉県のデジタル改革について 【説明】	10:00 ～10:20
2.	ワークショップの流れ 【説明】	10:20 ～10:40
3.	休憩(チーム分け発表)	10:40 ～10:50
4.	検討テーマに係る情報提供、 データ収集の進め方【説明/ワーク】	10:50 ～12:00
5.	お昼休憩	12:00～ 13:00
6.	取り組みテーマ決定/データ収集 (グループワーク)	13:00～ 14:30
7.	休憩	14:30～ 14:40
8.	職員インタビュー (グループワーク)	14:40 ～15:40
9.	KJ法(データ整理・収束)の実施方法【説明】	15:40 ～16:00
10.	インタビュー内容とデータの整理 (グループワーク)	16:00 ～17:00

2日目		
1.	アイデアシートの記入方法【説明】	10:00 ～10:30
2.	データとアイデア整理 (グループワーク)	10:30 ～12:00
3.	お昼休憩	12:00 ～13:00
4.	アイデアシート作成・プレゼン資料提出 (グループワーク)	13:00 ～15:00
5.	プレゼンテーションスペースに移動・準備	15:00 ～15:10
6.	発表(発表9分・質問2分)×4チーム (テーマ所管課からのコメント)	15:10 ～16:00
7.	休憩	16:00 ～16:05
8.	発表(発表9分・質問2分)×3チーム (テーマ所管課からのコメント)	16:05 ～16:45
9.	全体講評(大学/県)	16:45 ～16:55
10.	今後の予定等の連絡	16:55 ～17:00

データ収集



オープンデータサイトの紹介もしながら、データ収集方法の説明を行い、実際に参加者とともにデータ探索を行う。

『千葉県のオープンデータサイト』や、『政府統計ポータルサイト(e-Stat)』等から、テーマに沿ったデータを探索。

●千葉県オープンデータサイト

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoukaku/opendata/index.html>

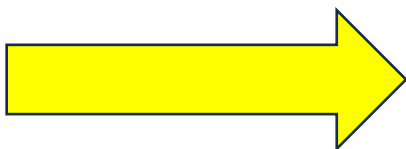
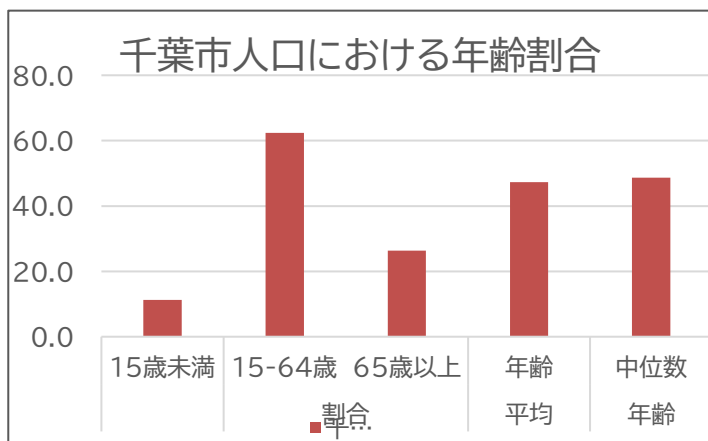
●政府統計ポータルサイト(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/statistics-by-theme/>

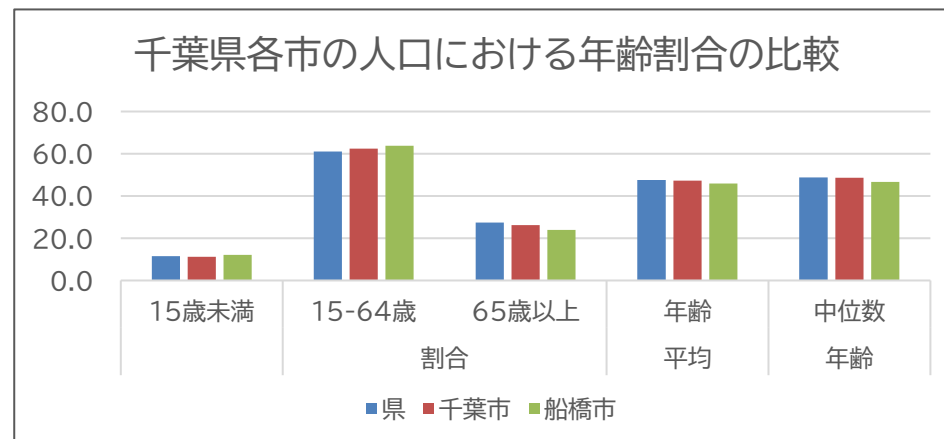
【当日の講義内容イメージ】

tips

・ データを見る際は「比較」を意識！ 他市町村の傾向も踏まえても比較してみましょう！



『千葉県オープンデータサイト』にて
他の市町村の現状も確認。
傾向の違いから特徴を把握。



職員インタビュー



【事前準備：庁内ヒアリングシートの作成】

テーマ担当課には、アイデアがほしい施策や良い点・課題点、アイデアソンへの要望等を聞き取り、進行にも活用。

アイデアソン テーマ検討用 ヒアリングシート		(課名)	職	
現状の業務においてアイデアを加味したい施策名	施策の概要(施策の目的、行政課題、等)	該当施策についての 良い点 (うまくいっている or 成果があった内容)	施策を進める中で 課題点(ハードル) (うまく進められていない点)	アイデアソンに対する要望(どんな企画がいいか、どんな課題があるか)
1 千葉とつくばキャンパス等の観光客向けPR施策	千葉県のスポットや特産物PRにより、観光客の関心を引くため、観光客数を回復させることを目的とする。特に2019年度に比べて大きく増加が見込まれており、その水準まで早急に回復させることを目指している。	新たな観光客のPRや地元の食文化の紹介、伝統的なイベントの復活などがあり、これにより訪問客は増加傾向にある。また、キャンペーンに関連する情報はSNS、メディアを通して提供され、情報拡散にも繋がっている。	一部の地域や観光客層が他と比べて注目を浴びる機会が限られていることや、キャンペーンの情報が一部の地域において広く浸透していないことが課題。また、他スポットとの差別化の中で他観光地との差別化が難しい影響もあり、旅行に関する不確定要因が存在した。これにより、計画が変更されるケースや旅行自体がキャンセルされるケースも発生した。	① 良い部分について、さらにアイデアを
2 日帰り観光客に対する宿泊促進施策	施策の主な目的は、日帰りではなく宿泊を伴う旅行を奨励し、宿泊客を増やせること。千葉県内のスポット情報などを魅力的な体験を提供し、宿泊客を増やせることを目指す。また、宿泊施設の提供も促進し、滞在型旅行を増やすことで地域経済の活性化も図りたい。	近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行にシフトしてきていることに加え、個人旅行客ターゲットとして、SNS等を活用した地元の観光情報発信の重要性も認識している。また、宿泊施設の提供も促進し、滞在型旅行を増やすことで地域経済の活性化も図りたい。	LCC (Low Cost Carrier: 格安航空会社) の普及や、特に広域的な高速交通網の整備は利便性の向上と併せて日帰り客層の大きな要因になっている。また、千葉県内では観光客の増加を促すが日帰りの入道、一方で、観光客は全県12位/29県 (全国平均9位) 【観光庁「共通基準による観光入込客数」21年計実績】に留まり、県内サービスへの消費転換に繋がっていない。	② 課題点に対して、解決案を探る

テーマを担当する県職員・市職員を招き、テーマに係る課題や現状についてインタビューを行い、理解を深める。

アイデア創出に向けてコミュニケーションを図りながら検討を実施。

インタビュー時はテーマごとに色分けした付箋を用意し記入。

後工程のアイデア発散時には、記入した付箋を使って学生が整理を行っていく。

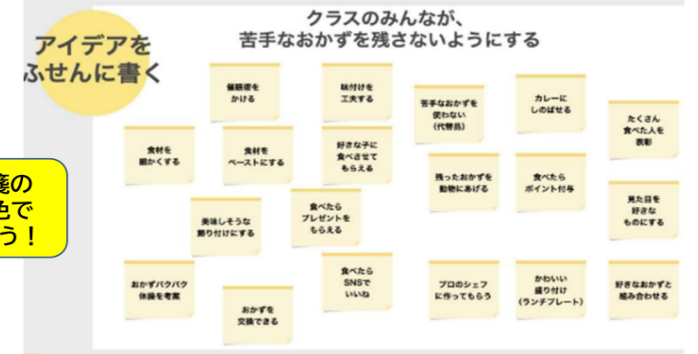
④ インタビュー実施

実際に業務に取り組んでいる職員にインタビューをしてみよう！

インタビュー中は、各自で付箋を用紙して、**どんどん「*点メモ」を取っていきよう！**

ヒント

- 1テーマごとに、1つの付箋にまとめよう！内容が跨る場合は、付箋を分けて書こう！
- サービスの利用者側の「困りごと」や「嬉しいこと」等、「感情面」にも注目してメモを取ろう！
※ 嬉しいことは「+」困りごとは「-」を付箋の右上に書こう。
- インタビューに出て来た「課題」(職員の不満)は今後のアイデアヒントになるよ！
- データを見て感じた疑問点については、別途質問もしてみよう！



【注意！！】
課題は青色の付箋を使おう！

アイデアの整理・検討



まずは事前講義の中で、アイデア整理の方法について説明。
それらを理解したうえで、チームごとにアイデア創出のための整理を実施。

ホワイトボードを活用し、自由にたくさんのアイデアを出し合いながら、ブレインストーミングを行う。
そこで得られたアイデアの言語化と可視化の手法としてKJ法を活用し、問題解決につなげていく。

【当日の講義内容イメージ】

⑤ データの整理

皆で取った付箋メモ(データ関連も忘れずに!)を持って、ホワイトボードエリアに移動しよう!
以下の要領で、皆でデータの整理しよう! ※整理する付箋は黄色のみ! (青色付箋は後ほど使用)

① それぞれの付箋をボードに貼ろう



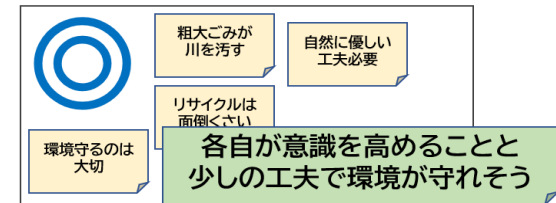
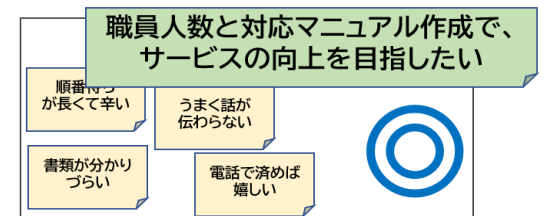
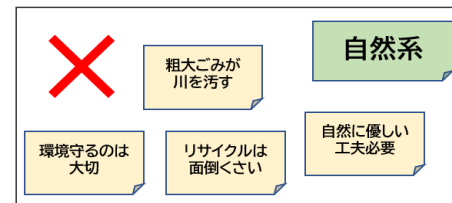
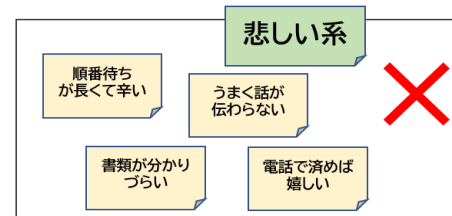
② 付箋をグルーピングして名前を付けよう



「グループの名前」を付ける付箋は、
緑色の付箋を使おう!

グループ名付ける際の注意点

- グループ名には独創的な名前を付ける。
- 「おもしろい」と思うポイントをグループ名に反映させる。
- できるだけ「長めの文章で」グループ名を付ける。



アイデアシート作成・プレゼンテーション



講義の中でSWOT分析の手法等にも触れながら、「課題整理」から「機会創出」を行うべく、現状と検討した手段の整理を行っていく。

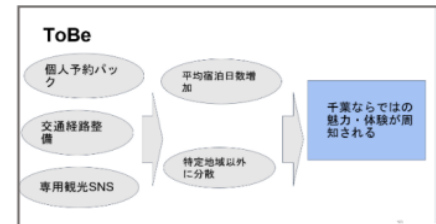
最終的には事前に用意した「アイデアシート」への落とし込みを行い、アウトプットとして整理。地域ごとに2日間の締めくくりとして、各チームがプレゼンテーションを行い、検討したアイデアを共有。実施の際はアイデアシートをもとに作成した、パワーポイントのスライドも活用。良いアイデアを発表したチームは10月の公開プレゼンテーションに招待。

【アイデアシートイメージ】

⑦ アイデアシートを作成しよう		チーム名：	1425_1450
アイデア名：			
①ターゲット：	②最も改善・解決したい点：		
③ As-Is（現状の姿）	④ ToBe（あるべき姿）		
利用したデータ：			
足りないデータ：			

【観光をテーマにした実際のアイデア】

【グループ1（観光）】



外国人旅行者が困ったことや市町村別滞在ヒートマップなどを活用し、千葉ならではの魅力が周知されていない、外国人旅行者が県内の特定の地域に集中しているなどの課題に着目。

解決策として、旅行サイトや鉄道会社と提携し、訪日外国人にお得な宿泊体験を「個人予約パック」で提供し、海外Youtuberに体験動画をアップしてもらおう。さらに、「観光マップ型SNS」を開発し、外国人によって発掘された魅力を発信してもらうことで、その魅力を日本人にも広める、というアイデアを提案しました。

【県担当課（観光企画課）コメント】

課題の認識などしっかりできていた。今回は時間が無かったので難しかったとは思いますが、訪日外国人を分析するのであれば、国が違えば好みも変わってくるので、国籍別でできるとさらに深堀できると思う。